





# 令和8年度 広島県立歴史博物館 (ふくやま草戸千軒ミュージアム) スケジュール

・講師の所属・職名は令和8年3月現在のものです。  
・内容等は一部変更することがあります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

企画展示室


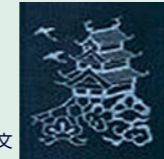



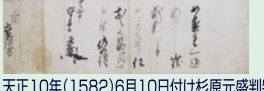
<p>4/17(金)~6/14(日)</p> <p>春の展示 <b>受け継がれる備後表</b> 一畳の歴史と今を探る</p>  <p>備後地方は古くから、い草の生産が盛んで、江戸時代以降、この地域のい草を用いて作られる畳表は「備後表」と呼ばれ、最高級品として全国に知られていました。 本展では、当館所蔵資料を中心に、備後表の歴史を紹介するとともに、現在行われている製作技術などの保存・継承に関する活動もあわせて紹介します。</p> <p>殖蘭図巻(部分、複製、当館蔵)</p>	<p>7/17(金)~9/6(日)</p> <p>夏の企画展 <b>見て楽しい!日本の城づくり</b></p>  <p>日本が誇る文化遺産の代表格である「城」。なかでも近世城郭に見られる天守や御殿といった建築、そして石垣の迫力と美しさは、世界中の人々を魅了しています。 本展では、城をめぐる多彩なテーマの中から「城づくり」を取り上げます。近世の城がどのように築かれたのか、実物資料を中心に、ビジュアルに分かりやすく紹介します。</p> <p>江戸城天守模型(兵庫県立歴史博物館蔵)</p>	<p>10/9(金)~11/29(日)</p> <p>秋の企画展 <b>大本山佛通寺展</b></p>  <p>三原市に所在する佛通寺は、応永4年(1397)に小早川春平が愚中周及禅師(佛徳大通禅師)を招いて創建された、広島県を代表する臨済宗の古刹です。 本展では、当館に寄託された佛通寺の貴重な文化財を中心に、佛通寺の歴史と文化について紹介します。</p> <p>重要文化財 絹本着色大通禅師像(部分、佛通寺蔵、当館寄託)</p>	<p>1/15(金)~3/14(日)</p> <p>早春の展示 <b>高校・考古コレクション展</b> 一高校生がひらく郷土の歴史</p>  <p>県内の高等学校で部活動などを通じて収集され、受け継がれてきた考古資料が当館に寄贈されています。 本展では、府中高等学校・福山誠之館高等学校などから寄贈された考古コレクションを展示し、郷土の歴史をひもとくとともに、学校教育と考古学の関わりについても紹介します。</p> <p>府中高等学校地歴部が参加した発掘調査の様子(昭和33年、AIによりカラー化、広島県府中市大久保遺跡)</p>
---	---	---	--

近世文化展示室

<p>~4/26(日)</p> <p><b>菅茶山と</b> 対外関係資料</p>  <p>馬上人物図</p>	<p>5/1(金)~6/21(日)</p> <p><b>江戸時代・文人の中国趣味</b></p>  <p>琉球国図(部分)</p>	<p>6/27(土)~8/23(日)</p> <p><b>菅茶山と当館収集の近世資料</b></p>  <p>大原吾響画「百亀図」(部分、個人蔵、当館寄託)</p>	<p>8/28(金)~10/25(日)</p> <p>菅茶山の世界・守屋壽コレクション合同展示 <b>備後名所刷版木と鞆の浦</b></p>  <p>備後名所刷版木「鞆の浦」(拓本)</p>  <p>諸国六十八景備後鞆津</p>	<p>10/30(金)~12/20(日)</p> <p><b>不屈の儒学者・門田朴斎</b></p>  <p>朴斎先生詩鈔</p>  <p>須弥山儀銘並序</p>	<p>1/2(土)~2/28(日)</p> <p><b>菅茶山と「好古学」</b> 菅茶山関係資料の保存修理と福山藩関係資料</p>  <p>那須国造碑(拓本)</p>  <p>江戸図(モンタヌス「日本誌」)</p>  <p>「飛騨藤橋図」修理風景</p>  <p>備後名勝巡覧大絵図</p>
--	---	--	---	--	---

草戸千軒展示室

## (通年展示) よみがえる草戸千軒 瀬戸内の歴史をたどる

<p>~4/26(日)</p> <p>中世文書を読む⑩ 杉原盛重の文書②</p>	<p>4/28(火)~6/21(日)</p> <p>旧石器、国内最古級のナゾにせまる! —下本谷遺跡・冠遺跡の石器—</p>  <p>下本谷遺跡出土石器(三次市教育委員会蔵)</p>	<p>6/27(土)~8/30(日)</p> <p>緋KASURI 7 —城と武士(もの)のふの景色— 緋ボランティアの成果</p>  <p>城と菊花入り幾何文</p>	<p>9/1(火)~10/25(日)</p> <p>草戸千軒の人々の遊び</p>  <p>羽子板</p>	<p>10/27(火)~12/20(日)</p> <p>古代朝鮮半島のやきもの</p>  <p>陶質土器 鈴杯(朝鮮三国時代)</p>	<p>12/22(火)~2/14(日)</p> <p>草戸千軒の冬の過ごし方「暖まる」</p>  <p>瓦質土器 風炉</p>	<p>2/20(土)~4/18(日)</p> <p>中世文書を読む⑪ 杉原元盛の文書</p>  <p>天正10年(1582)6月10日付け杉原元盛判物</p>
--	--	---	---	--	--	--

講演会等

<p>博物館大学</p> <p>第1回 5/9(土) 畳表と花ござ 心おどるい草織物の世界 松井 今日子 /岡山県立博物館学芸員</p>	<p>第2回 5/23(土) 日本からイグサの畳が無くなる日 —備後地域と熊本産地、そして中国の現状から— 佐藤 圭一 /福山大学建築学科教授・備後表継承会会長</p>	<p>第3回 8/1(土) 近世日本の城づくりと 城郭建築の特徴 中村 泰朗 /広島大学大学院人間社会科学部准教授</p>	<p>第4回 8/29(土) 御殿はなぜ美しく飾られたのか 小粥 祐子 /崇城大学工学部建築学科准教授</p>	<p>第5回 10/18(日) 小早川隆景と三原・佛通寺 光成 準治 /九州大学大学院比較社会文化研究院特別研究者</p>	<p>第6回 10/31(土) 佛通寺伝来の絵画 城市 真理子 /広島市立大学芸術学部准教授</p>	<p>第7回 11/14(土) 佛通寺の建造物を読み解く 千原 美歩 /広島県西部建設事務所建築課</p>	<p>第8回 2/20(土) 発掘は特別じゃない—学校から広がった考古学の世界— 村野 正景 /静岡大学学術院情報学領域准教授</p>	<p>第9回 3/6(土) 土偶が語る考古学(講演×公演) 高橋 健 /立教大学文学部准教授・白鳥兄弟(大道芸人)</p>
--	--	---	---	---	--	---	---	---

イベント

<p>夏休みだよ! (各回要申込)</p> <p><b>こども博物館教室</b></p> <p>●7/25(土) 10:00~15:00 「い草を織ろう」</p>	<p>●8/1(土) ①10:00~11:30 ②13:00~14:30 「藍染をしよう」</p>	<p>●8/22(土) 10:00~12:00 「ミニ畳を作ろう」</p>	<p>(歴史×心理学) <b>草戸千軒お化け屋敷</b></p> <p>●8/1(土) ●8/8(土) ●8/15(土) ●8/22(土) 各回 18:00~20:00(要申込)</p>
---	---	---	---